

NO 3	新潟日報社新社屋 メディアシップ	株式会社 新潟日報社		
提案概要	新社屋の郊外から中心市街地への回帰にあたり、省CO2エコタワーとして、気候風土を活かしたエアウイングによる自然通風誘発システムや、地産地消の天然ガスによる分散型発電システムなどの先導的技術を導入すると共に、社内外に「新潟日報社環境宣言」を発表し、環境対策を一層推進する。さらに省CO2優良テナント・企業への表彰制度や省CO2ポイント制度の企画・運用による、県下自治体・企業・県民の省CO2行動への参画を推進する。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	新潟日報社新社屋 メディアシップ	所在地	新潟県新潟市
	用途	事務所、物販店、飲食店、病院、集会所、駐車場	延床面積	35,777 m ²
	設計者	株式会社 石本建築事務所	施工者	未定
	事業期間	平成22年度～平成24年度		

概評	地方の新聞社が多様な省CO2技術を網羅した新社屋を建設し、これを契機に、地元企業や市民を巻き込んだ省CO2活動を展開しようとするものであり、地域に省CO2を普及させるプロジェクトとして評価した。地域の気候特性を活かした建築計画や地産地消に配慮した設備システムにも波及性があり、新聞社の特長を活かし、地元の活動や紙面を通じて省CO2の啓蒙や普及を進める点も評価できる。
----	---

参考図

ガラスダブルスキン (外気循環方式)
Low-e ガラスと電動調光ブラインドを使用したガラスダブルスキンで外皮負荷を削減し、開放性と遮音性を確保します。

自然通風システム
敷地特性を活かし、高層基準階におけるサイドフィン形状(エアウイング)を利用した自然通風システム。

高性能人感センサーのシステム
執務室調光、空調、換気風量制御システムを採用し、人がいる部分のみに照明、空調、換気を対応し、省CO₂化を図ります。屋光センサーによる屋光利用を行い、自然光を取り込みます。

太陽光発電システム
低層部底に約30kW相当のシーソー太陽光発電パネルと多結晶型太陽光発電システムを設置します。

床放射冷暖房システムの採用
1階イベントスペースに、床放射冷暖房システムを採用し、室内環境を向上。

屋上緑化
低層部屋根を緑化。

雨水利用
屋根に降った雨を地下ピットに貯留し、便所洗浄水、かん水に利用します。

新潟日報社新社屋 メディアシップ

外気処理専用除湿省エネ型空調機の設置
ヒートパイプを組み込んだ高効率型空調機の採用。

換気排熱カスケード利用
外調機排熱をEHP室外機に送風し、吸込温度を低減させて機器効率を向上させる。

各階メカニカルバルコニーの設置
高層棟基準階各階に室外機置場を設置し、冷媒配管長及び冷媒高低差を考慮した建築計画によるEHPの効率向上。

IT監視分散化発電システム
高効率小型発電システムを利用したコージェネ排熱利用システム。

見える化
省CO₂コミュニケーションのためのエネルギーの見える化、課金連動エネルギーの情報化専用システムを構築します。

BEMS導入
施設全体のエネルギー消費を時刻別にモニタリング管理するエネルギーマネジメントシステムを構築します。

エネルギーの見える化 → **統合** ← **計量と課金**

カーボンプレジット認証者によるCO₂削減量の評価とリンク

病院 商業 オフィス
自社 飲食 テナント

基準階
分散型BEMS

動力 電灯 コンセント We b端末
動力 電灯 コンセント We b端末

用途別の消費エネルギー評価 分散型BEMSはコンパクトでフレキシビリティを高めます

テナントA

テナントB

共用

事例蓄積 1階イベント用プラザの大型見える化画面

ビル内外の省CO₂コミュニケーションを誘導する仕掛け

ビル内専用LAN
将来はビル外とコミュニケーション
階別、テナント別にビル外との通信も可能なシステムへ

1階エネルギー管理室